

白賀川地域協議会が社会参加章を受章

9月24日(火)、鏡野町役場応接室において、白賀川地域協議会が国務大臣内閣府特命大臣から「社会参加章」の書状と楯が授与され、町長より手渡されました。

この受章は、「地域の溪流白賀川を中心に恵まれた大自然と伝統文化を大切にし、地域の活性化のために、昔の牛を使った代掻きや早乙女による手植えの田植えの再現や、白賀川溪流紅葉まつり、炭焼き体験をはじめ、いろいろな活動を行っている。活動は10年以上継続し、積極的な企画で地域の歴史風土・文化を保護継承し、地域外の集客も視野に活発に展開し、地域の活性化に貢献している」とが評価されたものです。



牛乳・乳製品利用料理コンクール最優秀賞受賞

10月5日(土)、岡山市で行われた「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会」で沢田在住の松本藍里さんが最優秀賞を受賞されました。

このコンクールは、牛乳・乳製品利用料理コンクールを開催することにより、日常生活の中に牛乳・乳製品を活用・定着させ、国産牛乳の需要の拡大を図ることを目的とし、岡山県在住の高校生以上の一般消費者を対象に牛乳・乳製品利用料理のアイデアを募集するものです。

松本さんは『みるく親子丼』を応募され、634点の作品の応募の中から見事受賞されました。

なお、松本さんは11月16日に開催される中国地区大会に出場されます。



大野小学校で稲の脱穀作業

10月1日(火)、大野小学校の小学校田で、9月24日に稲刈りをした稲の脱穀が行われました。

5年生28人が地元の方々から手伝ってもらいながら、稲掛けにして干しておいた稲を昔ながらの足踏み式脱穀機とコンバインの2通りの方法で脱穀していきました。

足踏み式脱穀機を初めて使う児童たちは、地元の方々から稲を脱穀機に入れるタイミングやうまく脱穀するコツを聞きながら、真剣な表情で作業を行いました。

脱穀したもち米は、大野地区の三世代交流会で半分は販売、もう半分はだんご汁としてふるまわれるとのことでした。



富保育園 サツマイモ掘り

10月1日(火)、富の布施神社前の築山さんの畑で、富保育園の園児による芋ほりが行われました。春ごろに園児たちが植えたサツマイモは見事な大きさに育っており、園児たちは2列の畝に植えられたサツマイモを一生懸命掘っていました。中には一つのツルに5つ以上のサツマイモが連なっており、それがあるものもあり、それが掘れると「やったー」という声とともに満面の笑みがこぼれていました。

